

# 学校法人カリタス聖母学園

## 令和5年度 事業計画(法人の部)

### 1. 教育方針

学校法人カリタス聖母学園は、カトリックの精神に基づき、幼児一人ひとりが、神様から造られたかけがえのない存在として自分自身と周りの人を愛することができるよう徳育(心の教育)、知育、体育の調和の取れた教育を目指します。また、ドンボスコの予防教育法によって人格形成の基礎教育を行うことを使命としています。

### 2. 幼児教育を取り巻く環境

- 1) 新型コロナウイルス感染症の拡大による教育・保育環境の変化によるいじめや虐待、戦争やテロ、環境破壊などの世界的不安、少子高齢化・人口減による経済的不安により貧困問題も深刻化しています。
- 2) 2023年4月、子ども家庭庁が創設されます。子ども家庭庁はこどもの最善の利益を第一として、こどもの視点に立った当事者目線の政策を強力に進めていくことを目指した政府の機関として、「こどもまんなか社会の実現」を目指していきます。
- 3) 2022年2月より幼稚園教諭・保育士の給与アップが求められ、新規で処遇改善が実施されました。全国で園児減少の園が増加する中、職員採用の困難さに合わせ、職員の離職率の増加が見られます。

### 3. カリタス聖母学園の基本的な方向性と重要課題

- 1) 「カトリック幼稚園だからこそ社会に提供できるもの」を実践するために、各幼稚園のビジョン・ミッションを職員一人ひとりが生き、子ども達に伝えることができるための職員養成に尽力することが必要です。
- 2) 法人独自の Web ページを充実させ、各幼稚園の教育活動や行事等の新しい情報を常に発信し園児募集、教職員の採用に活用する。各幼稚園の情報発信や園児募集を鼓舞し、園の取り組みに対して評価を行います。
- 3) 学園全体の IT 管理状況を標準化し、法人として管理していきます。各幼稚園の園児管理システム、給与システム、危機管理システム等が適切に運用されるよう指導します。
- 4) 未来を生きる子ども達が主体的に SDGs を学び、各幼稚園が具体的な取り組みを計画、実践するよう鼓舞します。

## 2023年度 事業計画(学園全体)

### I.新規事業

#### 1.学園全体

##### 学園の Web ページの充実

昨年立ち上げた学園 HP を利用し、法人全体の動きや各幼稚園の教育活動や行事の紹介トピックス等も取り上げ情報発信に努めます。(法人、各幼稚園の SNS 利用にあたっての規程整備)

#### 2.施設・設備

##### (1)法人本部の電話機交換・中継機設置

法人として各園との相談業務、園業務のサポートを円滑に行うため、不具合のあった電話機を交換します。

#### 3.教育・研究

(1)幼稚園における学校評価について各幼稚園で実施し、その結果を公表していきます。

### II.継続事業

#### 1.教育

##### (1)学園教職員養成

- ・カトリック教育に携わる職員の養成のため、修養会などの研修に積極的に参加する機会を設けます。
- ・新任・中堅・主任・管理職など職種別研修を通して、学びや分かちあいによって人的交流を深め、学園への帰属意識を高めます。

##### (2)IT 管理者養成

ICTシステムの導入によってIT管理者の養成や学園のIT利用規定の整備が必要です。現在体制を整えている途上にありますが、幼稚園職員のレベルに合わせた研修を行うことも必要です。将来的には管理者には専門的知識をもつよう研修を続けていきます。

#### 2.施設・設備

##### (1)園児管理システム「コミュなび」の運用、IT環境の充実

- ・「コミュなび」の導入によって、園内の円滑な事務作業が行えるようサポートしていきます。
- ・IT利用規定に従って各幼稚園からの情報発信を行うよう指導、管理を行います。

#### 3.その他

##### (1)自己点検活動

各幼稚園の適切な会計処理のため、2023年度も担当職員を変更し、自己点検を継続して行います。

# 2023(令和 5)年度 サンシティ聖母幼稚園 事業計画

## I. 2023 年度の事業の概要

子どもたちが人と人との関りや繋がりの中で様々なことを学び感じとり、自分自身の存在と他者の存在を認め皆が愛されていることを実感し、よりよく生き、それぞれの違いを受け止めながらも自分の思いをしっかりと伝えることが出来るよう子どもたちに寄り添い保育を行います。

また SDGs を視野に入れ、園全体や子どもたちでも取り組めることに挑戦していきます。

教員一人ひとりが自らを高めるため主体的に研修参加し学びを深めるよう取り組みます。

## II. 新規事業

### 1. 運営

#### (1) 満 3 歳児クラス定員変更(増員)

令和4年度より満3歳児クラスを開始し、定員15名で今年度を終えることが出来ました。

令和5年度の満3歳児クラスを募集し、手続きを進めているところ今年度よりも需要があり、現時点で定員の15名に達しています。入園希望者があり今後の需要も見込めるため、定員を15名から20名変更する予定で進めています。

### 2. 施設・設備

#### (1) 図書室の整備

2階の空き教室を図書室として整備し、子どもたちの学びの場・憩いの場としての環境を整えていきます。本・紙芝居の整理や購入、絵本棚・机・いす・ソファ・じゅうたん等の備品もそろえていきます。

#### (2) 園庭遊具ペンキ塗り替え

園庭の遊具でペンキが剥げているものがあり、安全性や衛生面からもペンキの塗り替えが必要です。子供たちの使用頻度が少ない長期休みの時に塗り替えを行います。

#### (3) 園児バス車内点検サポートシステム

昨今の度重なる園バスの事故を受け、全国での園送迎バスへの安全装置が義務化されます。それに伴い園児バス2台に車内置き去り防止安全装置を取り付けます。

#### (4) 自動火災報知設備改修

消防用設備等点検の際に、熱感知器が旧型で設置特例期限が1997年10月までで期限が過ぎているとの指摘があり法的上交換の必要が生じました。失効品と交換推奨品とがあるため、令和4年度は失効品のみを交換する予定でしたが、できなかったので、令和5年度消防設備等点検後にすべて交換します。

## 2023(令和5)年度 大村聖母幼稚園 事業計画

### I. 2023年度 事業計画の概要

- (1) 2023年度は園のビジョンである「キリストの愛に倣い、一人ひとりの存在が大切にされるように、自立心と思いやりの心を育む」を実践するために、幼児期の終わりに育ってほしい10の姿を視野に入れ、日々の保育が目標達成につながることを意識し、教育の質の向上を図るために、職員の自己研鑽・研修会への積極的な参加に取り組みます。
- (2) 新型コロナウイルス感染症も少しずつ落ち着きが見え始めましたが、引き続き安全・安心に配慮しながら行事の内容やあり方など再度見直し、保護者、地域との連携を深めていきます。

### II. 新規事業

#### I. 施設・設備

##### (1) 別館2階のトイレ改修

壁や床のタイルの劣化、排水管の水漏れ、時々異臭がするために改修工事を行います。

異年齢児が使用するため、使用しやすいサイズを揃え改修します。

##### (2) 1階手洗い場改修工事(別館前)

劣化し壁の塗装が剥がれていて、水道のパッキン交換を何度もしているため改修を行います。

##### (3) 2階廊下ロールカーテン設置工事

夏の日差しが強く、廊下の温度上昇が激しいため、ロールカーテンを取付ます。

##### (4) コミュナビ開始(園児管理システム)

令和5年4月に「コミュナビ」の職員への説明、6月～7月にお試し体験を実施し9月から本格的に開始する予定。コミュナビ導入により出欠確認やバス運行状態など情報の共有化、保育の充実、事務作業のスリム化を図っていく。

## 2023(令和5)年度 カトリック・カリタス幼稚園 事業計画

### I. 2023年度 事業計画の概要

今年度、創立50周年を迎えます。2019年10月から幼児教育の無償化に伴って子どもに対するより充実した保育内容が求められてきています。保育環境を整えることを第1に考え、教職員の働く環境も整えながら、幼稚園全体のより良い充実を考えてきました。新型コロナウイルスも5類になりますが、引き続き感染状況を注視し、園児をはじめ保護者、および教職員の安全・安心を心がけていきます。

## **Ⅱ. 新規事業**

### **Ⅰ. 施設・設備**

#### **(1) コミュなび(園児管理システム)の導入**

コミュなび(園児管理システム)を本格的に始めます。3月にお試しを行って、4月から名簿センター、連絡なび、出欠申請なび、注文なび、バスなびを活用し、ペーパーレスを考え、園だよりやお便り等も掲載できるようにしていきます。保育日誌や月案、週案、幼児指導要録等をパソコンやタブレット入力に移行していきます。

#### **(2) 門扉電磁施錠及び外壁、フェンスの工事**

門に電磁施錠を設置し、フェンス等を高くして園児の安全確保、セキュリティ対策に努めます。

#### **(3) 人工芝マット取替工事**

ブランコの下、玄関前の人工芝を敷いている部分をより安全性の高いマット、ゴムチップ等に取替え、園庭の砂の流失を防ぐようにします。

#### **(4) 2階保育室の手洗い場改修工事**

2階保育室の手洗い場の改修工事とその周りの出窓にブラインドを設置して子どもたちの保育環境を整えます。

#### **(5) 1階テラスの庇増設と改修工事**

昨年の1階テラスの改修で、庇が不足しているので増設と雨漏り部分を改修します。

#### **(6) 掲示板の設置**

保護者への連絡等のため通用門の近くに掲示板の設置

#### **(7) 棚の設置**

一時預かり(一般型)事業の教室に、玩具片付用の棚を設置

#### **(8) 運動会用品の購入・リズム室幕の取替え**

創立50周年を記念して、運動会で使用するパラバルーン、カラーガード、朝礼台を新しく購入、リズム室の幕が劣化しているので取替え、保育環境を整えていきます。

#### **(9) バス安全支援装置の設置**

バス車内置き去り防止のため園バスに設置し、職員の安全確認業務徹底と安全確保を促す。

#### **(10) ポータブル電源の購入**

非常時や園外活動に使用するためポータブル電源(自家発電機)を購入

# 2023(令和5)年度 名瀬聖母幼稚園 事業計画

## I. 2023年度 事業計画の概要

長く続いたコロナ禍は、子どもたちの心身の成長に必要な行事や日々の活動さえも阻む原因になりました。しかし、ここで停滞することなく、新しい保育の在り方を、早急に計画し、取り込まなければならない状況ともなりました。2022年度に引き続き、国外で戦争や自然災害が子どもたちの心に深く影響しています。重い課題を子どもたちとともに考え世界平和を祈りたいと思います。2023年度はITCの導入により保護者との情報交換・事務処理の効率化により、結果、保育の充実と刷新につながるよう努力したいと思います。また、2022年度から引き続き、園舎の外壁の改修工事を通して地域の環境に貢献したいと思います。一方で、昨今地域において様々な事件が生活を脅かしています。そのため、防犯に対策として既存の門扉よりも高いものと変更し、外部からの侵入に備えさらには防犯カメラを取り付けたいと思います。子どもたちと保護者の皆様に、神様の存在と祈りの必要性を示しながら導いていきたいと思っています。

## II. 新規事業

### 1. 施設・設備

#### (1) コミュナビ(園児管理システム)導入

保護者との情報交換・園児の出欠の確認・バスの乗車の確認・事務作業のスリム化等のため導入行いたいと思います。事務処理のための清算ナビはこれらの作業が落ち着き次第導入したいと思います。

#### (2) 砂場メッシュシート新規購入

既存の砂場シートは劣化のため擦り切れ、中の砂が見えている状況です。動物による害や自然災害による砂の流失を防ぐために砂場の大きさにあったサイズのシートを購入したいと思います。

#### (3) 正門・裏門および防犯カメラ設置工事

長い間、鉄製の門扉はメンテナンスを繰り返しながら使用していましたが、特に戸車は門の重さにたびたび擦り切れてしまい、裏門は坂の下に取り付けているため、砂が堆積して滑りが悪くなっています。また既存の門は低いと乗り越えて侵入することが容易にできます。それらを改修するとともに防犯カメラを取り付け、安全を確保したいと思います。

#### (4) 砂場屋根および梁の改修工事

既存の砂場屋根はトタン屋根を鉄製の梁が支えています。現在はこの屋根と梁が腐食し、安心して遊べる状況ではないので取り替えたいと思います。

#### (5) 園舎南面改修工事

令和5年2月に園舎の高圧洗浄を行い、塗装が剥げていた部分が塩害による壁の変色で隠れていたように、ところどころ以前の壁の色が現れたので、今年度この部分だけ塗装を施したいと思います。